

クリックリールとRevoFitの操作に関する重要なビデオ教育については、www.clickacademy.coをご覧ください。



勧告

取り付けは免許を持った専門家が行ってください。
締めすぎると血行が悪くなる可能性があります。
レースは摩耗します：

- ・ 摩耗や損傷がないか定期的にチェックする。
- ・ 磨耗が激しい部分の周囲で繊維が切れていないか確認する。
- ・ 繊維がかなり切れている場合はレースを交換する。
- ・ レースは6ヶ月ごとに積極的に交換する。
- ・ レースは直火や鋭利なものに近づけない。

体重制限: 135kgまで

他の言語の説明書を見る：clickmedical.co/instructions

ファブリケーター10パック (RF-200-07-10) もあります。

重要: ダイナミックカーボンAFOブレースを製作する場合は、製作前にスライダラミネートキットを注文する必要があります。注文部品番号 RP-309 「RevoLockスライダーラミネートキット」

保証

クリックリールは、最初に取り付けた機器の寿命まで保証されます。クリックリールの登録は、最初の機器納入時に必要です。登録方法：clickmedical.co/contact-us/cr-registration/

保証

Click Medicalの全製品に関する保証情報：
clickmedical.co/terms/#warranty

米国のお客様:

Help@ClickMedical.co までご連絡ください。
電話: +1-970-670-7012

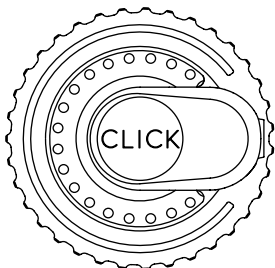
海外のお客様:

お近くの代理店にお問い合わせください。

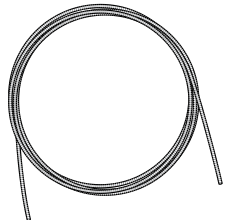
Click Medical製品は特許で保護されています

全リストは www.clickmedical.co/patents をご覧ください。

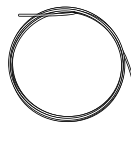
RevoFit ラミネーションキットの内容:



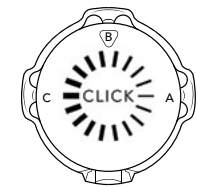
クリックリール



1.8mラミネーションチューブ



メタルレースフィーダー



ラミネーションカラー & ダミー



2.0m HDレース



リール



プラスチックレース×フィーダー
→x3

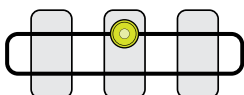
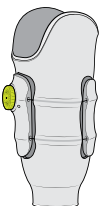
Fabrication Overview:

1. 調整可能なデザインタイプを決定する：パネル、ギャップ、ヒンジ。
2. 調整領域とクリックリールの位置を決めます。
3. インナーソケット材をモデルにかぶせます。
4. 積層材をかさね、最初のラミネーションを完了します。
5. 調整部分とクリックリールの位置に印を付けます。
6. RevoFitコンポーネントをモデルに接着します。
7. 積層材をかさね、2回目のラミネーションを行います。
8. トリムラインと調整部分をカットします。
9. エッジを研磨して仕上げます。
10. パッドを貼ります (パネルを作る場合)。
11. レースを通します。
12. リールモード (パワーモード、レッドロックプラグ付き) またはシフトモード (レッドロックプラグを外した状態) を選択します。
13. クリックリールを取り付け、機能テストを行います。
14. 患者に届け、装着を最適化します。

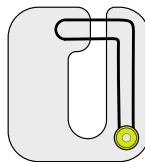
材料に関する提案とガイドラインについては、材料データシート：
clickmedical.co/mds を参照してください。

調整可能なデザインタイプを決定する:

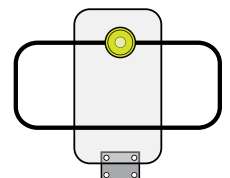
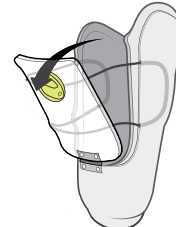
パネル



ギャップ



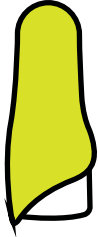
ヒンジ



追加設計: 調整可能なRevoFitデバイスの設計についての詳細は、クリックアカデミーにご登録ください。

詳細な製作手順:

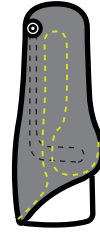
❗ !ラミネーション中は 15 inHG を超えないようにしてください。



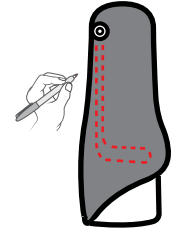
1 インナーソケット材をモデルにかぶせます。



2 最初のラミネーションを完了します。



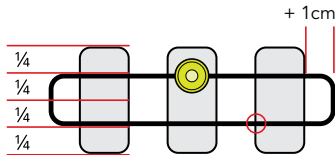
3 表面を研磨し、調整箇所、トリムライン、クリックリールの位置を決めます。



4 装置上にチューブパスを描きます。

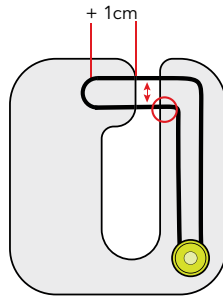
パネルの設計ルール:

- ¼ルール=パネルの長さ÷4。チューブは上端/下端から¼の距離にあること。
- チューブは互いに平行にパネルを横切ること。
- チューブはパネルの端に対して直角に交差すること。
- チューブは曲がる前にフレームから1cmはみ出していなければならない。



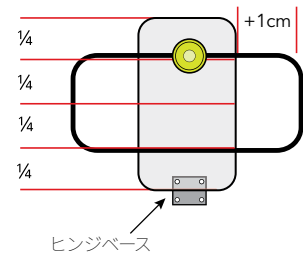
ギャップの設計ルール:

- チューブは互いに平行に隙間を横切らなければならない。
- チューブはエッジに対して直角にギャップを横切ること。
- チューブは、曲がる前にフレーム上で1cmまっすぐ伸びていなければならない。



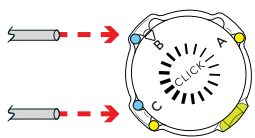
ヒンジの設計ルール

- ¼ルールで閉じる位置を決める。
- チューブは曲がる前にフレーム上に1cm出していなければならない。
- ヒンジはクローザーポイントとは異なる高さ(横断面内)にななければならない。

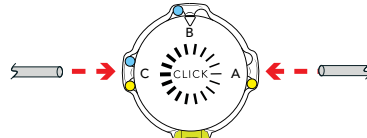


5 チューブポートをレースパスに合わせ、ラミネーションカラーをモデルに接着します。

注: カラーとモデル間の隙間は埋めください。



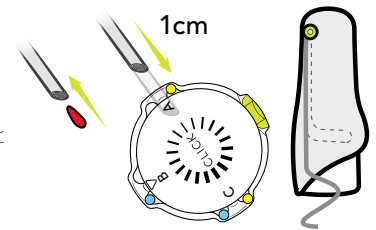
レースが平行
青のポートBとCを使用



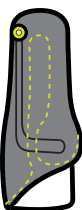
レースが対面
黄のポートAとCを使用

6 チューブをモデルに接着する。

- チューブを斜めにカットし、粘土を詰め、ダミーに1cm挿入する。
- 指定された経路に沿って、約1cmごとに点状の瞬間接着剤で接着する。
-チューブをねじらないでください。
-チューブがよじれたら、新しいものと交換する。
- チューブのもう一方の端を長さに合わせて切り、粘土を詰め、ダミーに1cmほど差し込む。



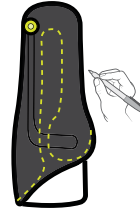
ダイナミックAFOまたはラージギャップ人工関節を作製する場合は、このステップでスライダーを追加し、「スライダーラミネーションキット」の説明書を参照して、ユーザー制御のロック(<https://clickmedical.co/download/62723/>)を追加してください。



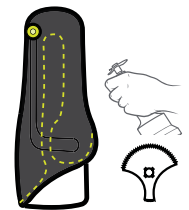
7 今後の参考のため、トリムラインと調整箇所の写真を撮る。



8 積層材とPVAバッグをかぶせ、2回目のラミネーションを行う。チューブとカラーの周りの余分な樹脂を取り除く。



9 トリムラインと調整箇所を描き直す。ステップ7の写真を参考にしてください

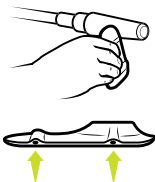


10 インナーソケットを取り外し、トリムラインをカットする。急なカーブのトリムラインでは、刃の小さい方を使用する。

詳細な製作手順(続き):

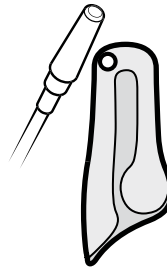
11 フレームやパネルの縁を仕上げる:

- エッジを研磨する。
- チューブの端のゴミを取り除きます。
- エッジを1000番のサンドペーパーで滑らかにする。



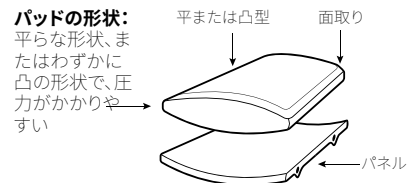
12 カラーを準備する:

- カラーを覆っている積層材を削り落とす。
- チューブの端を切り落とし、ゴミを取り除く。



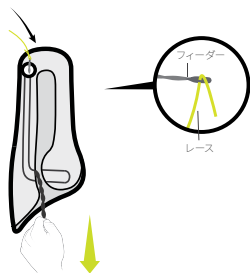
13 パネルやヒンジのデザインにパッド素材を追加する

パッド最適化の詳細については、クリックアカデミーに登録してください。



14 レースを通す

レースフィーダーを使用して、カラーからレースを通し始めます。

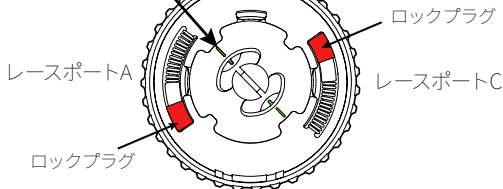


15 クリックリールにレースを取り付け

ステップ1

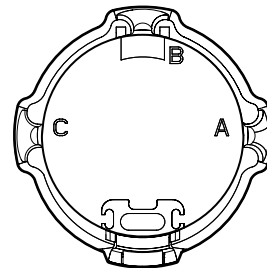
リールがレース取付位置にあるか確認する。両方のロックプラグが所定の位置にあること。スプールの緑色のマークとワッシャーの緑色のマークが合っていること。必要であれば、ダイヤルを回して緑のマークを合わせます。

ダイヤルを回して緑のマークを合わせる



ステップ2

各レースをリールの対応するレースポート (A、B、C) に取り付けます。

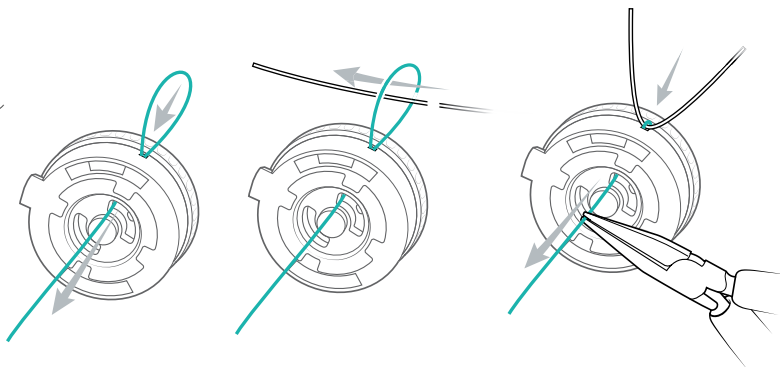


ステップ3

プラスチック製レースフィーダーを使ってリールにレースを通す。

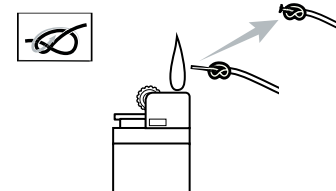
一言アドバイス:

プラスチック製レースフィーダーを壊さないように、ゆっくりと穴にレースを通します。



ステップ4

止め結びで結び、端を約5mm残して切り、軽く焼く。

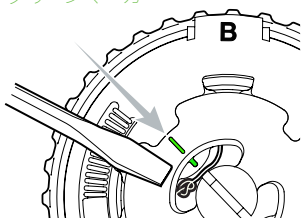


ステップ5

レースポケットの一番奥、グリーンマーカーの反対側に結び目を押し込む。

1番のマイナスドライバーで結び目を完全に空洞に押し込む:

グリーンマーカー



ステップ6

もう一方のレースを引っ張りレースの緩みをなくします。

ステップ3を繰り返し、レースをリールに通します。

レースの長さを10cmほど測ります。

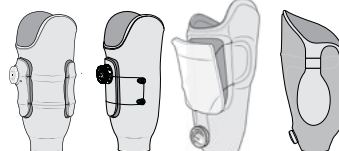
ステップ4を繰り返し、止め結びで結び、トリミングし、固定します。

ステップ7 どのリールモードを有効にするかを定める

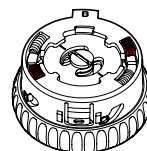
リールモードの詳細については、こちらのビデオをご覧ください: <https://vimeo.com/786989811>

レース巻き取りが7.62cm未満になるデザイン

アプリケーションの75%

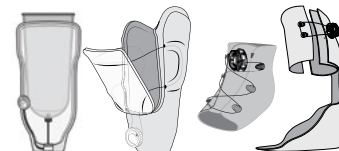


レッドロックプラグをリールに取り付けたままにする

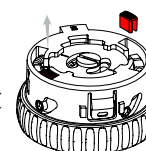


レース巻き取りが7.62cm以上になるデザイン

アプリケーションの25%



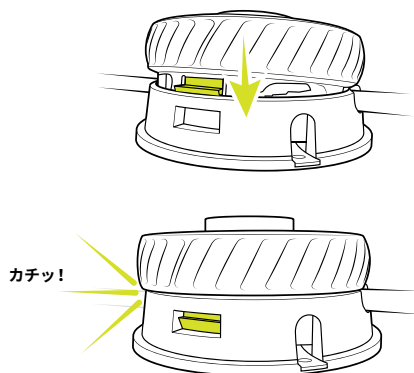
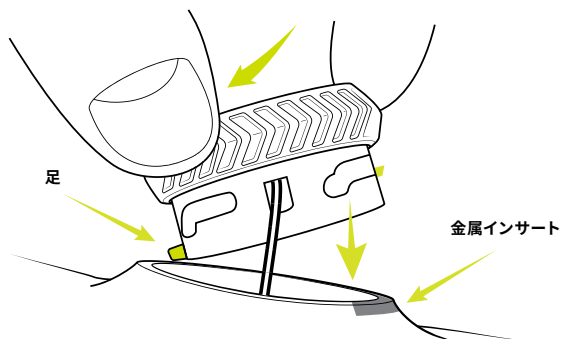
リールにレースを巻いた後、レッドロックプラグを抜き取る



一言アドバイス: セントラルファブリケーターは、リールにレッドロックプラグを取り付けた状態で装置を納品してください。これにより、施術者はパワーモードかシフトモードかを定めることができます。

16 クリックリールを取り付ける

- リールの足を、金属インサートの反対側にあるカラー下部のすきまに挿入します。
- リールをカラーにしっかりと押し込む（固定されると「カチッ」という音がするはずです）。



17 機能をテストする

納品前にシステムを3回テストし、正しく機能することを確認します。

18 重要

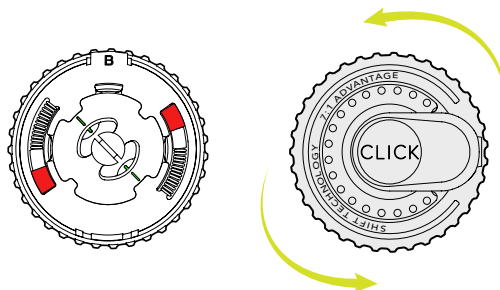
製造の最終段階として、患者用取扱説明書の下げ札をダイヤルに取り付けます。

クリックリールの使い方

リールはパワーモードとシフトモードのどちらでも作動します。
モードを切り替えたい場合は、こちらのビデオをご覧ください：<https://vimeo.com/786989811>

パワーモードでのクリック®リールの操作方法 - レッドロックプラグ使用時

- パワーモードでのクリック®リールの操作方法 - レッドロックプラグ使用時
- 緩めるときはリールを反時計回りに回す。
- 緩める・締めるの両方向へ微調整が可能。



リールを回すと常にカチッと音がする場合は、パワーモード

シフトモードでのクリック®リールの操作方法 - レッドロックプラグなし

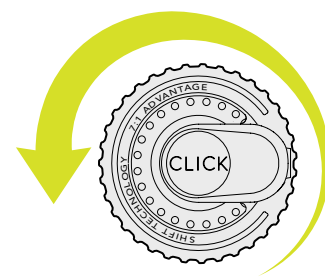
- リールを時計回りに回し、素早くレースを巻き取る。
- リールを回し続けます。自動的に「サイレント」から「クリック」に変わります。
- 時計または反時計回りに回して微調整します。
- レースを緩めるには、反時計回りに回します。クリック音が消えると、レースはリールから自由に緩みます。



レース巻き取り中、リールは静かに作動します。



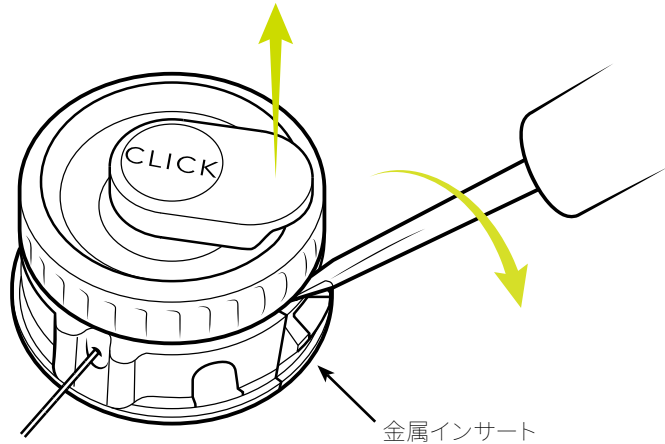
カチッと音がすると、リールはレースのテンションを保持し、より高いパワーでレースを巻き上げます。



クリックリールの外し方

クリックリールを取り外すには

- 金属インサートの位置を確認します。
- 小さなマイナスドライバーを金属インサートとリール本体の間に挿入します。
- リールをゆっくりと押し上げます。



患者立会いの下、装置の納入時に使用説明書をスキャンしてください。クリックリールの使用方法、RevoFit システムの手入れと保守について、患者に説明してください。

RevoFit® システムは定期的に点検してください。



レースの点検

- ✓ 摩耗や損傷がないか定期的にチェックする
- ✓ 摩耗の兆候があれば交換する
- ✓ レースは6ヶ月ごとに交換する



本製品は防水・水没可能です。海水、砂、泥の中で使用した後は真水で洗い流してください。

UK REP

MDSS-UK RP LIMITED, 6 Wilmslow Road
Rusholme, M14 5TP Manchester
United Kingdom

CH REP

MDSS CH GmbH, Laurenzenvorstadt 61
5000 Aarau, Switzerland

MD

MDSS GmbH, Schiffgraben 41
30175 Hannover, Germany

EC REP



Click Medical, LLC, 1205 Hilltop Parkway, W101
Steamboat Springs, CO 80487, USA +1-970-670-7012